
怪獣くんとお月さま

三月やよい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

怪獣くんとお月さま

【Nコード】

N1746B

【作者名】

三月やよい

【あらすじ】

夜空に優しいひかりをふりまくお月さま。そんなお月さまが羨ましい怪獣くん。月の満ち欠けを見ていたら浮かんだ絵本っぽいお話です。

（前書き）

月ってなんかホットケーキみたいだなあ
って思ったことがきっかけです。

むかーしむかし、ある所に怪獣さんがいました

「がおーっぐわーっがしゃーんっ」

とっても凶暴でとっても短気な怪獣さんはみんなに

とっても怖がられていて怪獣さん自体もそんな自分を

とっても強いと思っていました

あるところにまん丸お月さまがいました。

お月さまは太陽君が沈んだあとの黒いお空を優しい光で照らし
狼男くんには

「お月さま、ありがとう。キミのお陰で僕は狼になれるよ」
と感謝され

吸血鬼さんからは

「お月さま、貴方がいなかったらわたしたちは光の存在を
知りませんでした」

と讃えられ

にゃんこさんたちからは

「にゃーっお月さまが出てきたらボクらの時間にゃーっ」
と喜ばれていました。

お月さまもそんなみんなが大好きなので毎日毎晩夜空を
優しい光で照らし続けました。

ある日、そんな姿を見た怪獣さんは

「てやんでーっなんでえお月さまなんて

いいこぶりやがって。

こうしてやるっ」

とおっきなハシゴを掛けてお空に登り

お月さまをもぐもぐ食べてしまいました！

とっても大きなお月さま。

さすがの怪獣くんも一日では食べることが出来ず、

15日間掛けてすっかりまん丸お月さまを平らげてしまいました。

「どーだ参ったか！」

怪獣くんは大得意でしたが

お月さまを頼りに慕っていたみんなは

真っ暗な夜空にとっても困ってしまいました。

「どうしよう。お月さまがいないと狼になれないよ」

とおろおろする狼男くん。

「ああ・・・また光のない日々に戻りか・・・」

とうなだれる吸血鬼さん。

「にゃーっ お月さまがいないと集会が盛り上がらないっ」

と騒ぎ出すにゃんこさんたち。

みんなみんなお月さまが戻ってくるのを待ちながら夜空を見上げました。

そんな気持ちに答えるようにお月さまは少しずつ少しずつふっくらしてきて

15日後にはまた、まんまるおつきなお月さまになりました。

「待っていてくれるヒトたちがいるんだもん。」

何度でも大きくなるよ。」

完全にまん丸になったお月さまは怪獣くんにつこり言いました。

「なんだよきれいな事いいやがって！」

お前はいいよな。

みんなから頼りにされて大事にされているんだからな」

怪獣くんはたくさんお友達がいるお月さまが羨ましかったのです。

「怪獣くん。」

それは違うよ。怪獣くんにもきつと居るはずだよ。

怪獣くんを大事に思っていてくれてそして怪獣くんも

大事なあつて思う存在だあるはずだよ」

怪獣くんは三つ大きな山を越えた先に済んでいる

お母さん怪獣を思い出しました。

（お母さん心配しているかなあ？）

怪獣くんは懐かしいような嬉しいような泣きたくなるような不思議な気持ちで心の中がいつぱいになりました。

涙が出てきそうになるのに全然、嫌な気持ちではありません。

「・・・ちくしょー。なんで・・・」

・・・悪かったな、食べちゃって」

最後の言葉は口こそ悪いけれど怪獣くんの素直な気持ちがちゃんと現れていたのだ。お月さまはにっこりと笑いました。

怪獣くんはそれから少しずつよいこになり

みんなと仲良く仲良く遊びました。

そんなみんなをお月さまはいつもいつもにこにこ眺めていました。

（後書き）

ほわほわした気持ちになっていたただけなら幸いです。

ジャンルをその他にしようか悩んだのですが

月を擬人化しているあたりアル意味ファンタジーかな？

とジャンルをファンタジーにしてみました。

感想お待ちしておりますm（――）m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1746b/>

怪獣くんとお月さま

2010年10月28日08時22分発行